

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年10月24日 (2013.10.24)

【公開番号】特開2012-75636(P2012-75636A)

【公開日】平成24年4月19日 (2012.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-016

【出願番号】特願2010-223076(P2010-223076)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/494 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 K

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月9日 (2013.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

この発明の実施態様の一つにおいて、前記前方弾性部材における前記最下部弾性部材と前記後方弾性部材における前記最下部弾性部材とは、前記股下域のうちの内股部分にまでは延びることなく前記股下域を横断している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

また、最下部弾性部材 2 1 c と 2 2 c とが脚回り周り開口 1 3 の前方周縁部 2 3 a と後方周縁部 2 3 b とにおいては伸長率が高い状態にあることによって緊張した状態にあり、股下域 8 の前方部分 8 a と後方部分 8 b とにおいては伸長率が低い状態にあるか非伸長状態にあることによって弛緩した状態にあると、おむつ 1 では、幅方向 B へ伸長状態で延びる弾性部材の収縮によって股下域 8 にひだができ股下域 8 の外観が悪くなるということを防いだり、そのひだによって股下域 8 の幅方向 B における見かけの寸法が小さくなって体液吸収性パネル 3 がシャシー 2 の外側から見え易くなることを防いだりすることができる。